



## 情報環境機構

教育・研究など本学のさまざまな活動を支える高い安全性と利便性を備えた先端的情報環境の構築・運営を目的として活動しています。

### 機構が提供するシステムおよびサービス

情報環境機構は、学術情報メディアセンターと協力して、学内外を高速のネットワークで結ぶ学術情報ネットワークサービス(KUINS)、全国共同利用のスーパーコンピューティングサービス、本学での教育を支援する教育用コンピュータシステムや語学学習システム、遠隔講義システムなどの情報教育支援サービスなどを提供しています。

これらの情報環境を利用させていただくために学生にはECS-IDという学生アカウントとメールアドレス(KUMOI)を発行しています。

#### ●教育用コンピュータシステム

教育用コンピュータシステムは、本学の学生・教職員が授業や自主学習のために利用できるシステムで、ネットワークに接続されたPC端末約1,400台を学術情報メディアセンター南館内の演習用マルチメディア演習室やCALL教室、各学部のサテライト演習室など30カ所に展開しています。それらの一部は利用者がいつでも使える自習用端末として、学術情報メディアセンター北館および南館、附属図書館、吉田南総合図書館、桂キャンパスの船井交流センター内のオープンスペースラボラトリー(OSL)に設置しています。

これらのPC端末では、WindowsとLinuxの2系統のオペレーティングシステムが利用可能で、オフィスソフトのほかプログラミング、統計処理、数式処理など大学での学習に必要なさまざまなソフトウェアが導入されています。授業と自習との統合的な情報環境を提供するとともに、電子メールやWWWを利用したコミュニケーション環境を提供しています。

#### ●CALL / CALL 自律学習 / CALL Learning Space

CALL(コール)とは、Computer-Assisted Language Learningの略で、コンピュータを使用した外国語学習を指しています。CALL授業には、「教室学習型CALL」と「自律学習型CALL」があります。「自律学習型CALL」クラスは、学生が大

学の自習室や自宅などコンピュータの使用できる環境で、CALL用に開発された電子教材を使用し、時間や場所に拘束されことなく学習することができます。現在、英語だけでなく初修外国語でも自律学習型CALLと教室型CALLを大規模に導入しています。

上述の学術情報メディアセンター南館等のOSLに設置しているPC端末には、「CALL自律学習」教材が組み込まれており、ヘッドフォンを持ち込むことにより開館中はいつでも自学・自習ができます。また、ティーチング・アシスタントの常時配置で学習を支援しています。

#### 学術情報メディアセンター

- 北館OSLのサービス時間 月～金曜日 10:00～17:00(土日祝日閉館)
  - 南館OSLのサービス時間 月～金曜日 9:00～20:00
  - 土曜日 10:00～18:00(日祝日閉館)
- 担当：情報環境機構教育支援部門



教育を支える施設  
University Facilities



ラニング・コモンス(Learning Commons)



ラニング・コモンスでの学習風景



メディア・コモンス



学習室24

## 図書館

貴重な資料、データベースなど充実した学術情報と、館内施設・設備による学習支援・研究支援を行っています。

### 附属図書館

附属図書館は学習・教育・研究支援機能を持ち、学生、教職員をはじめ、学術情報を必要としている人々に広くサービスを行っています。図書館を学習・研究に活用してもらうために、文献の入手方法やデータベースの利用方法を始めとする講習会、新入生や留学生のためのオリエンテーションなどを実施しています。

京都大学には、附属図書館に約95万冊、全学で約691万冊の蔵書があります。創立より118年にわたる歴史を持つ附属図書館の蔵書には、学習用図書の外に、国宝「今昔物語集 鈴鹿本」をはじめ、古文獻資料、特殊文庫、全集もののコレクション等、貴重なものも数多く含まれています。また、電子ジャーナル(約9万タイトル)や電子ブック(約40万タイトル)、データベース(約100種類)なども提供しています。

### 館内の施設・設備等

#### ●ラニング・コモンス

組替自由な机やホワイトボード、プロジェクター、電子黒板、大型ディスプレイ、無線LANなどを備え、約100の座席があります。グループワークやディスカッション、プレゼンテーションや展示、イベントなど多様な利用に対応し、学習と表現、そして知的交流を実現する空間です。

また、学習サポートデスクが設置されており、様々な分野の大学院生スタッフが図書館の利用方法や学習に関する相談にお答えします。

#### ●学習室24

附属図書館が閉館した後も、朝まで勉強できるスペースです。自学自習スペース(「自学24」と飲食・談話ができる「なごみ」)に140席あり、夜間のセキュリティにも配慮しています。無線LANも利用可能です。

#### ●その他の施設

「共同研究室」(5室)は、グループでの共同研究や学習に利用できる部屋です。少人数から20名程度まで利用できます。

「研究個室」(14室)は、大学院生と教員が研究・調査のために利用できる個室です。

「メディア・コモンス」は音楽や映画鑑賞、語学学習などができる施設です。防音設備を施したメディア・シアターも備えています。

その他、PCや電卓など音の出る機器の利用を制限している「サイレント エリア」、約100台のパソコンがある「PCエリア」など、学習や研究のシーンに合わせて活用できるエリアがあります。また館内は、地下書庫を含め全館で無線LANが利用可能です。

#### ●学内の図書館・図書室

京都大学には附属図書館のほかに、学部や研究所などの図書館・図書室が50近くあります。詳しくは、京都大学図書館機構のホームページをご覧ください。  
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

#### ●蔵書検索システム(KULINE)

KULINE(クライン)とは、京都大学が所蔵する図書や雑誌を検索するシステムです。学内に約50ある図書館・図書室のどこにあるかを調べることができます。ケータイ版、スマートフォンアプリもあります。検索の結果、電子ジャーナルや電子ブックがあれば本文までたどることができます。他にも「論文検索」「貴重資料画像」「他大学検索」などの機能があります。

MyKULINE サービスは、京大の皆さんがログインして使えるWeb上の図書館です。パソコン上で、借りている図書の返却日を延長することや、予約をすること等ができます。学外からの文献取寄せ申込みもできます。

<http://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



附属図書館キャラクター  
「クラちゃん」と「インちゃん」

さらなる飛躍を支援  
Support for Career Development



## 国際交流

留学生との交流や、海外への留学を通して相互の教育・研究水準を高めるとともに、国際理解、国際協調の精神を身につける。

留学交流は、相互の教育・研究水準を高めるとともに、国際理解、国際協調の精神の醸成、推進に大きな役割を果たしています。更に、開発途上国の場合はその人材養成に協力するなど、国際貢献のための重要な国策とされています。京都大学では、現在106の国・地域から2,091名の留学生を受け入れ、国際色豊かなキャンパスとなっています。

近年、留学交流の新たなニーズとして、大学に在籍しながら1年以内の期間海外の大学に留学する短期留学が活発化しており、本学においてもこの留学を積極的に支援し、その施策を展開しています。

### 京都大学国際教育プログラムについて (KUINEP[Kyoto University International Education Program])

このプログラムは、大学間学生交流協定を締結している海外の大学から学部学生を半年もしくは1年間受け入れて本学の学生とともに英語で教育することにより、本学学生の国際性を育成し、留学生との相互交流を活発にすることを目的としたものです。英語で学ぶ全学共通科目が225科目(平成28年度)開講されており、共に学ぶことができます。

### 授業料等を不徴収とする大学間学生交流協定校への交換留学について

この制度は、海外の大学との大学間学生交流協定に基づいて本学の学部又は大学院に在籍しつつ、1年以内の1学期又は複数学期、協定校で教育を受けて単位を取得又は研究指導を受けるものです。学内で年2回募集を行い、書類選考及び必要に応じ面接により候補者を決定します。

京都大学では34カ国・地域の98大学2大学群と大学間学生交流協定を結んでいます。京都大学を通じて出願手続きができ、留学先では授業料等を支払う必要はありません。

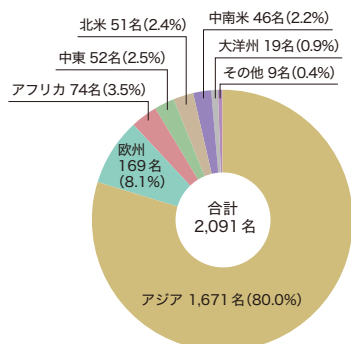
### 交換留学に関するQ&A

#### Q1：外国語力・学力はどのくらい必要ですか？

多くの協定校では、講義等で使われる言語の検定試験の成績を受入条件として定めていますので、学習、受験してクリアすることが必要です。また、京都大学での学業成績については、学内での派遣候補者選考において、学業成績のより優れた者に協定校への出願権を与える原則となっています。



留学生受け入れ状況  
(平成28年5月1日現在)



**Q2：交換留学の準備にはどのくらいの期間がかかりますか？**

交換留学を希望する学生は、おおむね想定する出発時期の1年～1年半ほど前に、所属する学部・研究科を通じて学内選考用の申請書(日本語)を提出することが必要です。協定校が提供する情報の中から、自分の専攻領域に合ったプログラムや履修したい講義を持つ大学を事前に自分で調べてから、学内選考用の書類を提出する必要があります。

交換留学は、年度により募集日程及び留学可能な協定校に多少変更がありますが、例年2月と7月(二次募集)に学内募集を行います。学内選考を通過した学生は、その後、留学希望先の指定する願書、推薦状、留学目的、履修希望科目を記した書類等を提出することになります。

**Q3：交換留学先で取得した単位は、京都大学で認定されますか？**

留学先で修得した単位を本学で修得した単位として認める単位認定制度があります。

**Q4：一募集期に、複数の大学に応募できますか？**

第二希望まで選んで学内応募できますが、実際の出願は学内選考・調整により、一校に絞ってもらいます。

**Q5：大学の情報・資料はどこで入手できますか？**

協定校から送られてくる資料は、留学生ラウンジ「きずな」に保存してありますので、自由に閲覧できます。「きずな」にない場合は各校のホームページで確認してください。

**Q6：交換留学するための奨学金はありますか？**

協定校への交換留学生を対象とした奨学金として、次の奨学金・助成制度があります。(いずれも、毎年必ず採択がなされるとは限りません。)交換留学の決定した学生の中から選考されるので、特に応募の必要はありません。

- ・独立行政法人日本学生支援機構の留学生交流支援制度(短期派遣)：奨学金 月額60,000～100,000円(派遣先地域による)
- ・渡航費の一部を助成することが検討されています。

**短期留学プログラムについて**

海外留学促進の一貫として、3ヵ月未満の各種短期留学プログラムを実施しています。大学間学生交流協定に基づく短期留学プログラムや、学部・研究科あるいは研究所等との協力のもと、様々なプログラムがあります。

東アジアや東南アジア、英語圏を主な派遣先として、授業期間外の8～9月や2～3月に開講されています。少人数での語学研修や現地での講義受講、フィールドワークなど、内容もプログラム毎に多彩なものが企画されています。学生の中には、このプログラムへの参加をきっかけとして、のちに中・長期留学をする例もあります。

**留学に関する奨学金について**

京都大学独自の奨学金やトビタテ留学 JAPAN、民間奨学金などもあります。

**「留学のススメ」**

**～京大による京大生のための留学説明会～**

学生のみなさんに海外留学を身近に感じてもらうため、国際教育交流課では年間を通して「留学のススメ」と題し、各種説明会を開催しています。主な内容として、交換留学や大学院留学のほか、語学研修、海外インターンシップ等があります。教職員や生活協同組合、関係団体に加え、学生組織や実際に留学をした学生等による留学情報満載の講演や留学体験談を、また海外協定校から本学に受け入れている交換留学生や、その大学へ留学した経験を持つ京都大学生による協定校紹介を行っています。所属部局の掲示板や京都大学HPで説明会情報をチェックして、是非気軽に参加してください。

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/student\\_3/reserve/susume](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/student_3/reserve/susume)

**工学部地球工学科国際コース**

工学部地球工学科では、土木分野における国際的リーダーとなりうる人材の養成を目的とし、多様な国籍の学生が共に学ぶために、全ての授業を英語で受講できる国際コースを2011年4月より開設しました。留学生向けには、一般入試とは別途の選抜試験を行います。一般入試を受験された方も合格後、3月中旬に開催する説明会において、本人の申し出により適性を判断して国際コースへの配属を決定します。本コースは、「京都大学次世代地球社会リーダー育成プログラム K.U.PROFILE(Kyoto University Programs for Future International Leaders)」の一環として開設しています。

**大学間学生交流協定による派遣実績一覧(平成27年度)**

国・地域	大学名	人数
アイルランド共和国	アイルランド国立大学ダブリン校	3
アメリカ合衆国	ウィスコンシン大学マディソン	2
	ハワイ大学マノアキャンパス	1
	ペンシルベニア大学	3
	ワシントン大学	2
イスラエル国	テルアビブ大学	2
英国	エジンバラ大学	2
	キングス・カレッジ・ロンドン	4
	シェフィールド大学	2
	ニューキャッスル大学	1
	パーミンガム大学	1
	ブリストル大学	2
	マンチェスター大学	5
オーストラリア連邦	オーストラリア国立大学	3
	シドニー大学	1
	メルボルン大学	3
オーストリア共和国	ウィーン大学	1
オランダ王国	ライデン大学	4
カナダ	ケベック州大学学長長協議会	1
	トロント大学	1
	マギル大学	2
シンガポール共和国	シンガポール国立大学	2
スイス連邦	ローザンヌ大学	1
スウェーデン王国	ウプサラ大学	2
	スウェーデン王立工科大学	1
	ストックホルム大学	3
タイ王国	カセサート大学	1
	タマサート大学	1
	チュラロンコン大学	1
大韓民国	ソウル大学校	1
	延世大学校	1
中華人民共和国	清華大学	1
	北京大学	3
	香港大学	1
	香港中文大学	2
ドイツ連邦共和国	カールスルーエ工科大学	1
	ゲッティンゲン大学	1
	ハイデルベルク大学	3
	フンボルト大学	1
	ベルリン自由大学	2
	ボン大学	2
	ミュンヘン工科大学	2
	ミュンヘン大学	2
トルコ共和国	コッチ大学	1
フィンランド共和国	ヘルシンキ大学	2
フランス共和国	エコール・ノルマル・シュベリウール	1
	グルノーブル大学連合	2
	ストラスブール大学	4
	パリ政治学院	2
ベルギー王国	ルーバン・カトリック大学	1
メキシコ合衆国	グアダハラ大学	1
計(20ヵ国・地域)	49大学2大学群	95

その他、学部・研究科独自の学生交流協定に基づく留学、個人手続きによる短期語学研修、大学院生を中心とした調査等の海外渡航が京都大学生により行われています。

**大学間学生交流協定による短期留学プログラム派遣実績一覧(平成27年度)**

国・地域	大学名	人数
大韓民国	延世大学校	10
台湾	国立台湾大学	8
中華人民共和国	西安交通大学	7
	浙江大学	12
	香港中文大学	8
計(3ヵ国・地域)	5大学	45

**「留学のススメ」開催実績(平成27年度)**

日程	概要
4月	国際交流センター新入生説明会(全8回)、アメリカ留学説明会、1回生のための交換留学説明会
5月	International Week ①大学院留学～留学生生活編～②大学院留学～留学準備編～ ③交換留学④海外インターンシップ⑤語学研修
6月	先輩体験談(全3回)、海外協定校紹介(3校)
7月	アジア留学説明会、海外渡航安全説明会
11月	海外インターンシップ説明会(全2回)
12月	St.Gallen Symposium説明会



## 大学院進学 学部教育で身につけた知識や技術をより深め、次世代を担う研究者・実務者をめざす。

京都大学の卒業生には、伝統ある「自由の学風」の中で培われた知性・感性・倫理性といった力を、社会における様々な分野の中でさらに磨きつつ、活かして行くことが期待されています。学部卒業後の進路としては就職か大学院進学が考えられますが、いずれの進路を選ぶにせよ、京都大学は、皆さんが誇りある京都大学卒業生として、社会に貢献できるような道を進めるよう、サポートします。

大学院進学者は、全国的に増加傾向にあります。とりわけ京都大学は、大学院を充実させた研究型大学の特徴として、平成27年(2015)3月に学部を卒業した2,803名のうち、約56%が大学院に進学しました。

各部卒業後に就職の道へ進んだのは、約33%です。その就職先は、後のページに挙げるように、多種多様な職種へと進み、大学で学んできた知識と技能を活かしています。

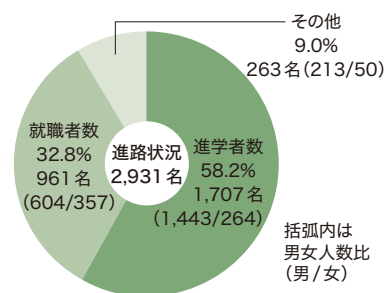
### 大学院進学

学部を卒業した後、学部教育で身につけた知識や教養、技術をより深めることを希望するならば、大学院進学を選ぶことになるでしょう。

大学院とは、次世代を担う研究者あるいは高度な知識と技能を持った実務者を養成する課程です。したがって、学部教育よりもさらに専門的な知識を身につけ、自分自身で研究を行う能力や専門的な実務能力を養うことになります。標準修業年限は、博士前期課程(修士課程)の2年間とそれに続く博士後期課程(博士課程)の3年間(課程の区分を設けない一貫制博士課程は5年間)で、定められた単位を修得し、必要な研究指導を受けて研究論文の審査と最終試験に合格すれば、修士もしくは博士の学位が授与されます。またいわゆる飛び級制度を認めている大学院もあります。指定の単位を優れた成績で取得した者で学部在籍が3年間以上の者に入学を認めたり、それぞれの標準修業年数に満たなくても学位を授与したりする場合があります。

進学先については、学部と関連した大学院へ進学することが一般的ですが、異なる分野の大学院へ進学することも可能です。一般に大学院には学部よりも多種多様なバックグラウンドを持つ学生が集まり、多様性が増すこととなります。

### 平成27年度卒業者の進路状況 (平成28年5月1日現在)



※学部ごとの進路状況については、学部紹介のページ(18ページから61ページ)をご参照ください。

### 学部を持つ大学院

京都大学の10の学部は、それぞれが大学院を備えています。正確に言えば、大学院重点化が行われた現在は、大学院が主たる組織であり、そこが学部教育も提供しているという形になります。学部とつながる大学院は、総合人間学部と統合した人間・環境学研究科、および文学研究科、教育学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科です。それぞれが、学士課程(学部)の教育と連続した、高度な研究と教育をおこなっています。詳しくは、各学部の紹介のページを参照してください。

## 独立研究科

京都大学には学部を持たない大学院課程、すなわち独立研究科が6つあります。エネルギー科学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科、情報学研究科、生命科学研究所、総合生存学館(思修館)、地球環境学舎がそれにあたります。いずれの研究科においても、多様な学部の卒業生を受け入れ、複合的学域の創出・深化に携わる研究者や実務家の養成を主眼にした大学院教育の体系化をめざしています。

## 専門職大学院

研究者養成に主眼をおいていた従来の修士課程とは異なり、高度で専門的な職業能力をもった実務家を養成するための新しい形の大学院です。現場で活躍する各分野のスペシャリスト等も専任教員として招き、現場の複雑な問題を解決するための知識と技能の獲得をめざした教育をおこなっています。京都大学では、医学研究科社会健康医学系専攻、法学研究科法曹養成専攻(法科大学院)、公共政策大学院、経営管理大学院の4つの専門職大学院が開設されています。

## 博士課程教育 リーディングプログラム

文部科学省によるこの事業は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたるグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

京都大学では、平成25年度までに「京都大学大学院思修館」、「グローバル生存学大学院連携プログラム」、「充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成

プログラム」、「デザイン学大学院連携プログラム」、「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」の5件のプログラムが採択されています。

## 大学院 総合生存学館(思修館)

京都大学は、地球社会の課題を総合的に分析し、解決に導くための方法論や思想、政策などを幅広く探究する学問である「総合生存学」の発展を通じて、次代を担うグローバルリーダー人材を育成する大学院「総合生存学館(思修館)」を平成25年4月に開設しました。

総合生存学館(思修館)は、博士課程教育リーディングプログラム(オールラウンド型)「京都大学大学院思修館」プログラムを実践する新大学院であり、「テラーメイド型カリキュラム」・「研修施設の利用による対話とディベートによる熟議、海外フィールドワークやPBR(発展型PBL)などの実践型教育カリキュラム」・「複数指導教員制度・メンター制」の特徴を有した5年一貫制の博士課程です。

## 京都大学ジャパングートウェイ構想

文部科学省のスーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」による「京都大学ジャパングートウェイ構想」では、本学が十分な国際競争力を有する分野を中心に世界トップレベル大学と大学間協定を締結して、共同科目の開設、博士論文の共同指導・査読等の取組を行うとともに、国際共同学位プログラム「ジョイント/ダブルディグリープログラム」の開発を進めます。

これによる大学院教育の国際化と、入試改革、外国人教員の雇用促進、留学生の受入れおよび学生の海外派遣の増加、英語による授業の増加等、大学教育の様々な側面の国際化との相乗効果により、本学の研究・教育力の更なる強化を図り、世界で活躍する次世代のトップレベル研究者を輩出します。

## 大学院への進学

(●印は主な出身学部を紹介しています。)

	総合人間学部	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	農学部
<b>文学研究科</b> 文献文化学専攻 思想文化学専攻 歴史文化学専攻 行動文化学専攻 現代文化学専攻	●	●								
<b>教育学研究科</b> 教育科学専攻 臨床教育学専攻	●	●	●							
<b>法学研究科</b> 法政理論専攻 法曹養成専攻(法科大学院)	●	●		●						
<b>経済学研究科</b> 経済学専攻					●					
<b>理学研究科</b> 数学・数理解析専攻 物理学・宇宙物理学専攻 地球惑星科学専攻 化学専攻 生物科学専攻	●	●				●			●	●
<b>医学研究科</b> 医学専攻 医科学専攻 社会健康医学系専攻 人間健康科学系専攻	●					●	●	●		●
<b>薬学研究科</b> 薬科学専攻 薬学専攻 医薬創成情報科学専攻								●		
<b>工学研究科</b> 社会基盤工学専攻 都市社会工学専攻 都市環境工学専攻 建築学専攻 機械理工学専攻 マイクロエンジニアリング専攻 航空宇宙工学専攻 原子核工学専攻 材料工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻 材料化学専攻 物質エネルギー化学専攻 分子工学専攻 高分子化学専攻 合成・生物化学専攻 化学工学専攻	●					●			●	●
<b>農学研究科</b> 農学専攻 森林科学専攻 応用生命科学専攻 応用生物科学専攻 地域環境科学専攻 生物資源経済学専攻 食品生物科学専攻	●					●				●
<b>人間・環境学研究科</b> 共生人間学専攻 共生文明学専攻 相関環境学専攻	●	●		●	●	●	●		●	●
<b>エネルギー科学研究科</b> エネルギー社会・環境科学専攻 エネルギー基礎科学専攻 エネルギー変換科学専攻 エネルギー応用科学専攻	●					●			●	●
<b>アジア・アフリカ地域研究研究科</b> 東南アジア地域研究専攻 アフリカ地域研究専攻 グローバル地域研究専攻	●	●	●	●						●
<b>情報学研究科</b> 知能情報学専攻 社会情報学専攻 複雑系科学専攻 数理工学専攻 システム科学専攻 通信情報システム専攻	●				●	●			●	●
<b>生命科学研究所</b> 統合生命科学専攻 高次生命科学専攻	●					●	●	●	●	●
<b>総合生存学館(思修館)</b> 総合生存学専攻		●	●	●	●	●		●	●	●
<b>地球環境学舎</b> 地球環境学専攻 環境マネジメント専攻	●	●				●			●	●
<b>公共政策大学院</b> 公共政策専攻	●			●	●					
<b>経営管理大学院</b> 経営管理専攻	●				●	●			●	

さらなる飛躍を支援

Support for Career Development

平成 27 年度就職関連ガイダンス等実施実績について  
(平成 28 年 4 月 1 日付)

行事名	実施回数等
就職ガイダンス	全 5 回
業界研究セミナー	全 12 回
キャリアデザイン講座	全 3 回
合同企業説明会	全 12 回
公務員関係ガイダンス等	全 11 回
就職セミナー	全 24 回
インターンシップガイダンス	全 2 回
内定者による相談会	全 5 日
就職相談室	全 229 日
博士・ポスドク対象セミナー	全 4 回

## 就職支援

社会のリーダーとして活躍し、社会の発展に貢献するために。  
豊かな人生をおくるために。

### 学生総合支援センター キャリアサポートルーム

社会に出る第一歩である就職活動で、苦戦を強いられる学生が多いのは京都大学でも例外ではありません。企業や官公庁等は優秀で、やる気のある人材を求めています。優秀な人材に複数の内定が出る一方で、全く結果が出ない人もいるなど二極化が進んでいます。学生側の就職に対する志望は多様化しており、学生が自分の能力や経験を活かせる就職先をどのように見つけるか、企業側が求める人材とどのようにマッチングするかが大切になってきています。一方、大学院進学率の高い本学では、学生自身が将来の進路、職業、自分の進むべき道について、早い時期から考えていくことが充実した学生生活を送るうえで重要です。

キャリアサポートルームでは、学生の就職活動を支援するため、各種試験関連ガイダンスや就職相談の実施に加え、「各種企業資料・会社案内(パンフレット)」・「求人情報」・「OB・OG名簿」・「就職関連書籍・DVD」・「企業主催のセミナー・説明会開催情報」および「インターンシップ募集情報」の収集・閲覧、メールマガジンの配信、求人票検索システムの運用、ガイダンスの動画配信等を行っています。就職関連書籍・DVDについては貸し出しも可能です。

就職活動でもインターネットの活用が不可欠なため、キャリアサポートルームでは就職情報検索用のパソコンを設置し、学生が利用できる環境を整えています。

キャリアサポートルームは時計台のある吉田キャンパスの他に、宇治キャンパスおよび桂キャンパスにもサテライト(分室)を開設しています。

#### ●ガイダンス等の開催

就職活動の概要を紹介する「就職ガイダンス」、OB・OGを含む企業や官公庁他で活躍する方々を招いて業界や職種等について今後のキャリアのあり方を学ぶ「キャリア研究・業界研究セミナー」、「エントリーシート対策講座」のほか、少人数を対象とした「自己分析講座」、「グループディスカッション対策講座」、「模擬面接」などを実施しています。

また、「キャリアデザイン講座」として将来のキャリアを考えるための講座、将来研究

者を目指す人たちのためのガイダンスなどを実施しています。

※昨年度開催のガイダンス等一覧は表を参照してください。

#### ●就職相談室の開設

学外からキャリアサポートの専門家を相談員として招き、就職・進路に係る様々な相談に対応しています(予約制)。学生のみなさんは、気軽にご利用いただけます。

### インターンシップ —実社会体験を学びに活かす—

インターンシップは、学生が在学中に企業・団体等の現場において実社会が体験できる貴重な機会です。本学では、就業体験をとおしてキャリア形成を考える在学在生に対して、多様なインターンシップについての情報提供を行っています。さらに、国内の国公立・民間研究機関、地方公共企業体や民間企業等における現場での貴重な経験を、大学における学びに活かせるようサポートしています。毎年多くの在学在生がインターンシップを体験しています。近年は、外国の研究機関や企業におけるインターンシップに積極的に参加する在学在生も増えています。本学では、このような学外でのインターンシップを授業に採用し、学外の国公立・民間機関等で行った就業体験を単位として認定する制度を取り入れている学部(学科)や研究科もあります。

### 海外インターンシップ

グローバル化が進み、国際的な視野やコミュニケーション能力を身につけることのできる海外インターンシップへの関心が高まっています。

海外インターンシップ体験を希望する学生を支援するため、京都大学内においては、京都大学・イアエステ学内委員会、アイセック京都大学委員会の2つの学生運営委員会が自主活動しています。これらを通して、外国の研究機関や企業における研修に積極的に参加している学生もいます。

卒業生の職業別就職状況について

平成27年度 卒業生の職業別就職状況(平成28年5月1日現在)

職業		学部																				男子計	女子計	総計
		総合人間学部		文学部		教育学部		法学部		経済学部		理学部		医学部		薬学部		工学部		農学部				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
専門的・技術的職業従事者	研究者										1	1				4	2	2		2	2	9	5	14
	農林水産技術者																			4	2	4	2	6
	製造技術者(開発)	機械			1									1					8			10		10
		電気																	2			2		2
		化学															1	1	1			2	1	3
		その他										2					1	2	4			7	2	9
	製造技術者(開発を除く)	機械																	2			2		2
		電気																	1			1		1
		化学																	3			3		3
		その他																						
	建築・土木・測量技術者																	4	1	3	7	1	8	
	情報処理・通信技術者	4		2	2	3		4	2	8	2	8	1					4	2	2	1	35	10	45
	その他の技術者											1		1				2			4		4	
	教員	幼稚園																						
		小学校																						
		中学校			1		2															3		3
		高等学校			1	2	1		1			1						1				3	4	7
		中等教育学校																						
		高等専門学校																						
		短期大学																						
大学																								
特別支援学校																								
その他										2								1			3		3	
医師・歯科医師・獣医師・薬剤師	医師・歯科医師																							
	獣医師																							
	薬剤師															1	5				1	5	6	
保健師・助産師・看護師													1	53						1	53	54		
医療技術者												3	17		1					3	18	21		
その他の保険医療従事者	栄養士																							
	その他											1	2		1						1	3	4	
美術・写真・デザイナー・音楽・舞台	1																1				2		2	
その他	1	1			1		3		6	2	1	1					3	1	1		16	5	21	
管理的職業従事者	13	10	9	15	2	2	28	8	43	13	2			1			5	2	4	4	106	55	161	
事務従事者	9	3	21	35	5	4	76	24	41	15	1	2		3			4	2	6	5	163	93	256	
販売従事者	4	3	1	3	1	1	3	2	12	3	1		1	1			3			1	26	14	40	
サービス職業従事者	3	2	3	2	5	1	10	5	24	4	2	1	1	1		1	2		4	2	54	19	73	
保安職業従事者							1														1		1	
農林漁業従事者	農林業従事者																							
	漁業従事者																							
生産工程従事者									1								1				2		2	
輸送・機械運転従事者											1						2		1		4		4	
建設・採掘従事者																								
運搬・清掃等従事者																								
上記以外	10	7	8	15	6	8	23	8	39	7	5	1	5	6	2	4	24	2	7	9	129	67	196	
総合計		71		121		42		198		222		33		98		26		90		60	604	357	961	
男子計		45	26	47	74	26	16	148	50	176	46	26	7	14	84	9	17	79	11	34	26	604		
女子計																							357	961





## 男女共同参画推進センター

学生・教職員がジェンダーの違いにかかわらず、自らの力を発揮できる環境整備を行う。

本学は、その創設以来、自由な学風と批判的精神に基づく創造性あふれる学知の探求によって国際的にも広く知られてきました。そして今、時代の大きな転換点にあたって、自由な討論と多様性に開かれた学風をより発展深化させ、創造的かつ人類の幸福に資する学問の発展を図るためにも、男女共同参画＝ジェンダー平等に基づいた大学を構築していく必要があります。以上のような観点に立って、私たちは、以下のような基本方針を確認し、京都大学における男女共同参画の一層の推進を目指したいと思えます。

- 男女共同参画の視点に立った教育・研究および就業の確立
- 教育・研究および就業と家庭生活との両立支援
- 男女共同参画に資する教育・学習・研究の充実
- 性差別への敏感な対応と迅速な解決
- 教職員・学生への啓発活動の推進
- 国・地方自治体、企業や市民セクターとの連携
- 国際的な連携の促進

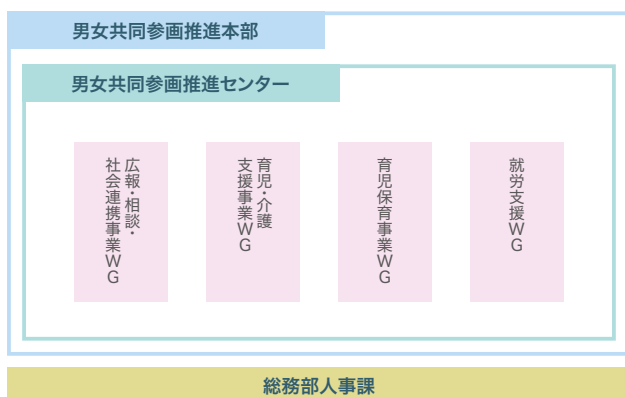
### 男女共同参画推進本部の設置について

本学では、平成18年に科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」に採択され、男女共同参画推進事業が本格的に開始されました。本事業をより一層発展させるべく、平成26年度に「男女共同参画推進本部」及び「男女共同参画推進センター」が設置され、支援の対象も女性研究者のみならず男性も含めて教職員・学生へと広がってきつつあります。

また、平成27年4月には、アクション・プラン(2015年度～2020年度)を公表しました。「女性リーダーの育成」、「家庭生活との両立支援」、「次世代育成支援」という3つの目標を設定し、本学における男女共同参画の一層の進化を進めることとしています。



理事・副学長  
稲葉 カヨ



### 情報提供

Webサイトで、様々な情報発信を行っています。是非、メーリングリスト登録を行ってください。ニュースレター「たしばな」や、冊子「研究者になる!」「未来に繋がる青いリボンのエトセラ」も発行しています。  
(京都大学男女共同参画推進センター)  
<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>

## 京都大学優秀女性研究者賞「たちばな賞」

京都大学における若手の女性研究者(研究者部門・学生部門)の優れた研究成果を讃えるため、平成20年度に「たちばな賞(京都大学優秀女性研究者賞)」を創設しました。本制度は、人文・社会科学又は自然科学の各分野において、優れた研究成果を挙げた若手の女性研究者を顕彰することにより、当該若手女性研究者自身及びこれに続く多くの若手女性研究者の励みとし、ステップアップに繋がるよう研究意欲を高め、もって本学、さらには我が国の学術研究の将来を担う優れた女性研究者の育成等に資することを目的としています。



### 性差・ジェンダーに関する講座 (平成28年度)

#### 全学共通科目「ジェンダー論」

担当教員：伊藤 公雄(文学研究科)

#### ILASセミナー「ジェンダーと科学」

担当教員：伊藤 公雄(文学研究科)・速水 洋子(東南アジア研究所)  
山内 淳(生態学研究センター)



### シンポジウム・フォーラム

男女共同参画の啓発や交流の促進のため、シンポジウムやトークイベント「Women and Wishフォーラム」を開催しています。



### 保育・介護

#### 病児保育室「こもも」

病児の子どものための保育室を京大病院に設置しています。教職員・学生が利用できます。



#### 保育園入園待機乳児の保育室

自治体保育園への入所待機中である乳児の保育室を、男女共同参画推進センターに設置しています。保護者に代わって、シッターが子どもを迎えに行き、センターで一時保育をする「おむかえ保育」も実施しています。



#### 介護講演会

介護に関する講演会、交流会、ワークショップを実施しています。

### 女子高生：車座フォーラム

京都大学男女共同参画推進センターでは、京都大学の研究者や科学者の仕事を知ってもらおうと「女子高生・車座フォーラム 京都大学を知ろう・研究者と語ろう」を企画しています。フォーラムでは、理系・文系それぞれにどんな研究分野や領域があるのか、なぜ今この分野を選んだのかといった大学進学に関わる話をはじめ、研究の面白さや苦労、専門職や研究職など大学卒業後の将来設計のための心得、あるいはまた、具体的に、たとえば子育てと研究生活の両立方法、研究論文の執筆や学会発表といった研究者の仕事内容など、さまざまなテーマについて、教員や大学院生、学生が疑問にお答えします。



### 研究支援

育児や介護中の研究者・教員にとって、一日数時間の時間のやり繰りが可能であれば、あるいはほんの少しの研究・実験補助があれば、研究・教育を中断せずに生活と研究を両立できるのに、と思うことが度々あります。またこうした日々の積み重ねが、研究者としてのキャリア形成・展開に大きな意味をもつことも珍しくありません。男女共同参画推進センターでは、女性研究者支援センター設置初年度の2006年から「研究・実験補助者雇用制度」を導入し、育児や介護中の研究者・教員を対象に、研究や実験の補助者の雇用を支援してきました。とくに、科学技術振興調整費「女性研究者

支援モデル育成」事業の予算に本学の独自財源を加えることによって、女性だけでなく男性にも、また理系・医系だけでなく人文・社会科学系の研究者・教員も利用できる、全学的な、そして利用者の視点にたった制度として拡充・運用を図り、振興調整費が終了後も本学の独自プログラムとして実施しています。

導入後、約9年を経て、制度は広く定着してきました。利用者の研究分野や所属する部局も広い範囲にわたっています。補助者雇用にあたっては、申請者が所属する部局の全面的な理解と協力が大きな力になりました。また、制度を利用した方には、利用状況や補助者雇用によって得られた研究成果に関する報告を提出していただき、制度の透明性確保と効果の確認を行っています。